

森を語る集い

# 我々は森林から何を得て、 林業に何を求めるのか

日本の森は、三重の森は、山里に住むとは。  
山里の哲学者と山に生きる林業の2人のプロが語る。

平成 28 年

**3月11日(金) 14:00-16:40**

出演 内山 節 哲学者

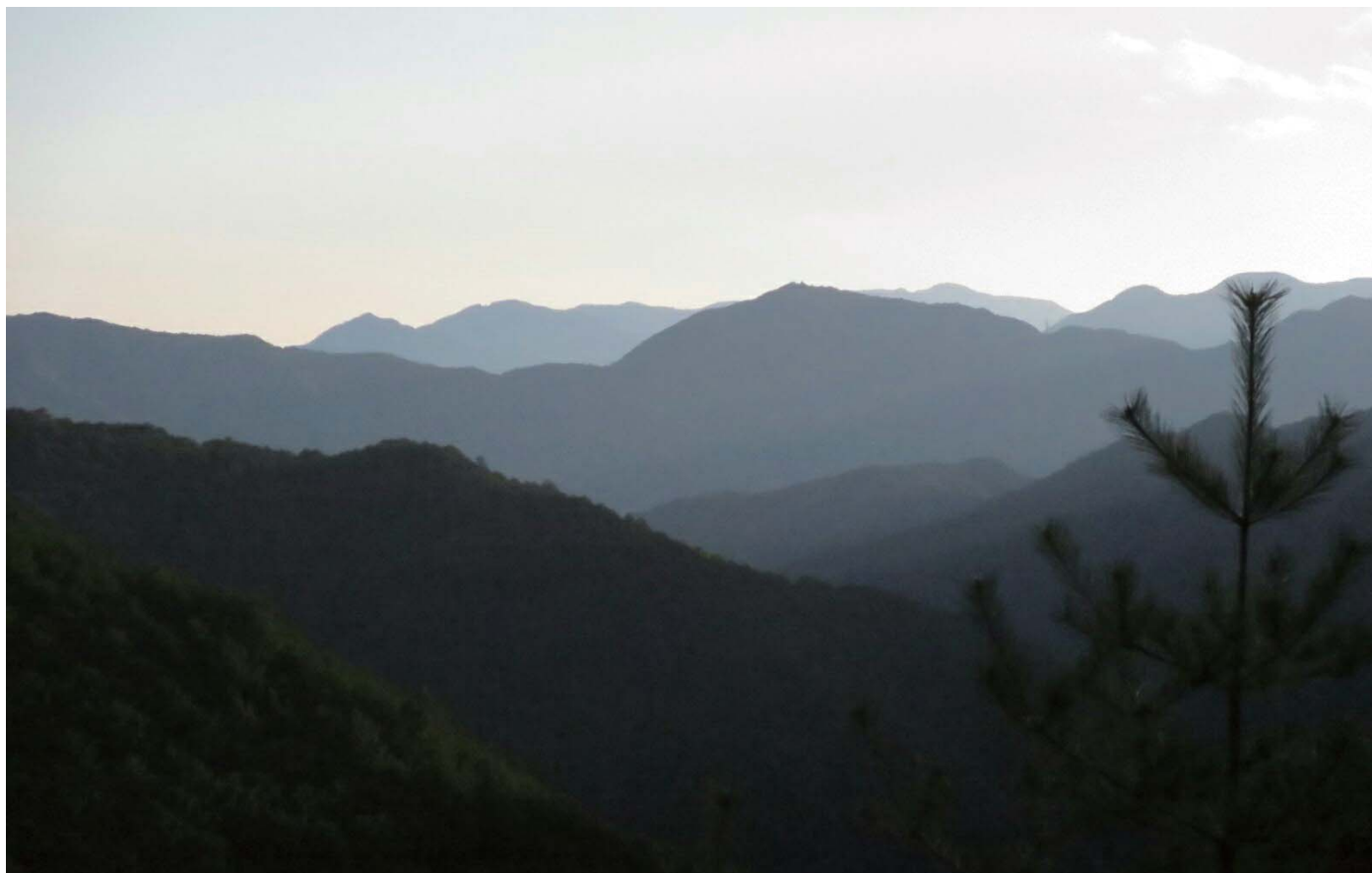
速水 亨 速水林業代表、三重県林業経営者協会 会長

堀内 宏樹 叶林業合名会社代表、三重県林業経営者協会 副会長

会場 三重県総合文化センター  
フレんテみえ セミナー室C (3階)

主催 三重県林業経営者協会  
共催 三重県立図書館

**入場無料  
申込先着  
100名様**



# 我々は森林から何を得て、 林業に何を求めるのか

三重県の面積の3分の2を占めるのが森林です。森林は、災害から我々の暮らしを守るだけでなく、地球温暖化の抑制や生物多様性の保全など、重要かつ多様な役割を果たしています。しかしその一方で林業を取り巻く環境は厳しい状況にあり、より多くの手で森林を支えることが求められています。

このたび三重県林業経営者協会と三重県立図書館は、森をテーマとした集いを開催します。この集いでは、哲学者で、ご自身も森とともに暮らす内山節さんをお迎えして、日本における森林の果たしてきた役割や歴史などについてお話を伺うとともに、三重県の林業家を交えた鼎談を通して、三重の森や林業のこれからを考えます。この集いが、森林や林業について改めて考える機会になればと思います。

## プログラム

- 14:00 開会 主催者挨拶
- 14:10 講演 「日本における森林の基層」 内山 節
- 15:30 休憩
- 15:40 鼎談 内山 節、速水 亨、堀内 宏樹
- 16:40 閉会



内山 節 うちやま たかし

哲学者。1950年東京都生まれ。1970年代より東京と群馬県の山村、上野村を往復して暮らしながら、存在論、労働存在論、自然哲学、時間存在論を軸に哲学の研究をすすめる。立教大学大学院教授、東京大学兼任講師などを歴任し、現在はNPO法人森づくりフォーラムの代表理事などを務める。主な著書に『内山節著作集』（全15巻、農文協）、『「いのち」の場所』（岩波書店）、『半市場経済』（編著、角川新書）などがある。

## 申込制（先着100名様）

森を語る集いに入場をご希望の方は、下記の方法でお申し込みください。先着100名様をご招待します。お申し込みの際には、入場を希望される方のお名前、電話番号をお知らせください。

お申込先（件名）：三重県立図書館「森を語る集い」係

ホームページ 専用の申込フォーム

電話 059-233-1181

FAX 059-233-1191

Eメール [mie-lib@library.pref.mie.jp](mailto:mie-lib@library.pref.mie.jp)

窓口 三重県立図書館カウンター

\*ご記入いただいた個人情報は、今回の目的以外には使用いたしません。



スマートフォンからも  
お申し込みいただけます



### 交通のご案内

- 三重県総合文化センター 〒514-0061 津市一身田上津部田 1234
- 鉄道 近鉄・JR 津駅下車
- バス 津駅西口から約5分
- 徒歩 津駅西口から約25分
- タクシー 津駅西口から約5分
- 自家用車 伊勢自動車道津インターから約15分、芸濃インターから約15分